

江別市 予算案



基本方針

令和3年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の後期5年間の3年次目となります。
「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

予算編成のポイント

令和3年度当初予算は、この基本理念に基づいてまちづくりを進める「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を政策の中核に据えて取組を推進します。

また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策については、国の15か月予算の考え方に沿って、別途編成する補正予算により対応し、新年度予算と一体的に進めていきます。

安心して暮らせるまち

- ・生涯活躍のまち整備事業
- ・重度心身障がい者等交通費助成事業
- ・高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業
- ・健康づくり推進事業
- ・新栄団地建替事業
- ・庁舎等耐震化検討経費
- ・除排雪事業

活力のあるまち

- ・旧岡田倉庫活用事業
- ・北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業
- ・あけぼのパークゴルフ場改修整備事業
- ・オリンピック・パラリンピック推進事業
- ・はやぶさ運動広場移転事業
- ・大学生等地域関係促進事業
- ・総合特区推進事業

子育て応援のまち

- ・待機児童解消対策事業
- ・子育て世代包括支援事業
- ・民間社会福祉施設整備費補助事業
- ・GIGAスクール構想推進事業
- ・放課後児童クラブ運営費補助金
- ・一時預かり事業
- ・子ども医療費助成事業

環境にやさしいまち

- ・環境クリーンセンター基幹的設備改良事業
- ・最終処分場整備事業
- ・ごみ収集運搬業務委託
- ・ごみ処理手数料等管理経費
- ・環境教育等推進事業
- ・野生鳥獣等保護管理事業
- ・自治会防犯灯設置費補助金（LED化）

予算規模（各会計予算額）

（単位：千円）

	令和2年度	令和3年度	増減	率
一般会計	45,010,000	47,140,000	2,130,000	4.7%
特別会計	24,488,000	25,294,000	806,000	3.3%
企業会計	16,933,762	17,142,568	208,806	1.2%
全会計	86,431,762	89,576,568	3,144,806	3.6%

一般会計は471億4千万円で、前年度から21億3千万円（4.7%）増加しました。

これは、福祉・医療などの社会保障費の増加などによるものです。

全会計合計では、895億7,656万8千円となり、前年度から31億4,480万6千円（3.6%）増加しました。

きれいな空気、清らかな水、豊かな緑に恵まれた美しく住みよいいべつをめざします

新規 最終処分場整備事業

22,000 千円

第1期最終処分場の埋め立て終了に向けて、第2期最終処分場の整備を行います。

- ◆ 最終処分場基本構想策定



最終処分場

ごみ処理手数料等管理経費

85,456 千円

指定ごみ袋の製造やごみ処理券印刷、取扱店への配送などを行います。

- ◆ **新規** 地域の清掃などに利用する公共ごみ袋について、自治会等の要望があったことから、従来の40ℓのほかに10ℓを新たに作成し、希望に応じて使い分けられるようにします。



環境クリーンセンター
基幹的設備改良事業

4,620 千円

稼働開始から20年を迎える環境クリーンセンターの延命化に向けた設備改良工事を行います。
(改良時期：令和4～7年度の4年間)

- ◆ 発注仕様書・積算資料等の作成委託



環境クリーンセンター



環境教育 買い物ゲーム



出前環境学校

環境教育等推進事業

3,387 千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発を行います。

- ◆ えべつ環境広場の開催
- ◆ 子ども向け教育
ごみ減量体験講座、出前環境学校、
水辺の自然塾 など
- ◆ 市民環境講座 など

花のある街並みづくり事業

3,259 千円

美しい街並みを創出するため、花壇づくりに積極的に取り組む自治会等へ、市民憲章推進協議会を通じて、花苗・資材代や管理活動に対する活動協力金を助成します。

- ◆ 花苗助成事業等補助
- ◆ 活動協力金



花のある街並みづくり

その他主要事業（政策01）

■ 環境負荷軽減推進事業	5,123千円
■ 太陽光発電啓発事業	315千円
■ 環境マネジメントシステム事業	872千円
■ 野生鳥獣等保護管理事業	686千円
■ 古着・古布及び小型家電資源化事業	2,164千円
■ 街路樹維持管理事業	18,900千円

■ 環境クリーンセンター等 長期包括的運営管理委託事業	998,258千円
■ リサイクルセンター運営管理委託事業	65,682千円
■ 分別・資源化等啓発事業	6,200千円
■ 資源回収奨励事業	37,524千円
■ ごみ収集運搬業務委託	402,358千円

地域特性を活かした産業が躍動するえべつをめざします

都市と農村交流事業

1,700 千円

江別産農畜産物の地産地消や、生産者と消費者との交流を支援します。また、市内だけでなく近隣にも江別の農畜産物のファンが拡大することを目指し、積極的にPRします。

- ◆ 農産物直売所・貸し農園MAPの作成
- ◆ 農業体験ツアーの実施
- ◆ 「えべつかあさんブランド」認証シールの作成
- ◆ 農畜産物加工新商品開発等支援



都市と農村交流事業 農家のかあさん土曜日



都市と農村の交流センター「えみくる」

都市と農村の交流センター
管理運営事業

22,306 千円

指定管理者による施設の管理運営を通して、「食」と「農」による学びと活力を生み出し、都市と農村地区の交流を図ります。



6次産業化支援事業

2,562 千円

都市と農村の交流センター（えみくる）に設置されたテストキッチンの操作指導等により、生産者の6次産業化を支援します。

- ◆ 地域おこし協力隊による6次産業化支援



テストキッチン操作指導研修会



小麦「きたほなみ」

江別産農畜産物

ブランディング事業

2,283 千円

江別の小麦・黒毛和牛など地域ブランドの維持・拡大や安定供給に取り組めます。

- ◆ 黒毛和牛育成支援
- ◆ 小麦品種「きたほなみ」の作付を確保するための助成



「食」と「農」の
豊かさ発見実践事業

3,932 千円

食育推進計画に基づき、「食」と「農」への理解を深めるため、小・中学生を対象とした食育事業を実施します。

- ◆ 小学生：農業体験学習等
- ◆ 中学生：市内生産者等を招いた授業
地場産食材を使ったレシピコンテスト



小学校の農業体験学習

企業誘致推進事業

1,775 千円

札幌市に隣接した立地環境、道内都市や空港・港湾への優れた交通アクセス、豊富な人材、安心して暮らせる都市環境、フード特区への指定、研究機関や4大学の集積など江別市の優位性を活かした積極的な企業誘致を推進します。

- ◆ **拡大** 企業誘致活動経費（テレワーク推進のための旅費等）
- ◆ 企業誘致パンフレット作成

企業立地等補助金

51,256 千円

江別市に工場等を新築・増築、または本社機能を移転した企業に対して、条例に基づき補助金を交付します。立地補助、雇用補助、下水道使用料補助、設備更新補助、本社機能移転補助の5種類があります。



総合特区推進事業

14,667 千円

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）を北海道や札幌市等と連携して推進し、食品の付加価値を高める研究・産業都市への発展を図ります。

- ◆ **拡大** 海外フェアでのトップセールスの実施
- ◆ **拡大** 外国語PR動画の制作
- ◆ 海外バイヤーを招聘しての商談会の実施
- ◆ 食の臨床試験活用企業への機能的食品開発支援

商工業活性化事業

2,572 千円

地域経済の活性化のため、研修・研究活動や地域イベントの開催等を支援します。また、制度の周知や個別支援のサポートを行います。

- ◆ 商工業活性化事業補助金「イベント事業」「研修・研究活動事業」ほか
- ◆ 商工業活性化サポート事業

創業スタートアップ支援事業

5,051 千円

市内で創業や事業拡大を目指す方を対象に、創業支援相談員によるアドバイスや、セミナー開催などで支援します。

- ◆ **拡大** オンラインにも対応した創業支援セミナーの実施
- ◆ 創業支援等事業者への補助
- ◆ 創業支援相談員による相談の実施
- ◆ 実践創業塾等の開催

江別まちなか仕事プラザ事業

22,109 千円

就労支援拠点を設置し、働きたい女性やシニア層等の社会参加向上と企業の雇用確保・拡大に向けた各種取組を推進します。

- ◆ 就労相談や求人情報の提供
- ◆ 女性やシニア層を対象とした就労支援セミナー等の開催
- ◆ 市内企業向けの雇用確保に関する相談支援やセミナーの開催
- ◆ 企業説明会・交流会等の開催



旧岡田倉庫

旧岡田倉庫活用事業

118,251 千円

千歳川の堤防整備に伴い移設が必要となる旧岡田倉庫の今後の活用方法等について検討を行うとともに、移設に向けた準備を進めます。

- ◆ **新規** 移設先の用地取得費、補償費
- ◆ **新規** 移設工事に係る現地調査・耐震補強設計の実施
- ◆ **新規** かわまちづくり計画案の作成

(参考) 政策03
介護人材養成支援事業

13,029 千円

市と市内の介護事業者が連携を図り、入門的研修による新規人材の発掘や介護事業所での実習などの就労支援の実施により、介護人材の確保と市内の介護事業所への定着を図ります。

- ◆ 介護に関する入門的研修の実施
- ◆ 介護職員初任者研修の受講による資格取得及び市内の介護事業所での職場実習

(参考) 政策08
市内大学等インターンシップ事業

327 千円

市内大学と連携し、学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政の理解を促進するとともに、将来、江別市内で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ（3か月間（実働30日）、10名程度）

観光振興計画推進事業

9,432 千円

観光振興計画に基づき、観光による交流人口の創出と地域経済の活性化を図ります。

- ◆ **新規** レンタサイクルの実施（日帰り周遊観光・サイクルツーリズムの推進）
- ◆ プロモーションイベントの実施
- ◆ 産業連携新商品開発支援



観光振興計画推進事業 第6回江別のパンとおいしい仲間たち

食を軸とした
地場産品販路拡大支援事業

528 千円

江別産品の掘り起こしと高付加価値化を図り、ブランド化及び販路拡大を推進します。

- ◆ 北海道産品取引商談会の出展支援
- ◆ 江別産品試食評価相談会の開催
- ◆ 美味しい江別フェア(東京都内で実施予定)の開催支援

地域発見魅力発信事業

11,328 千円

地域資源を活用した江別市の魅力を効果的に発信し、観光客の誘致を図ります。

- ◆ **拡大** 地域おこし協力隊制度等の活用による観光推進体制の強化
- ◆ 地域おこし協力隊による江別の魅力発信
- ◆ こどもパスポートを近隣市町村と共同発行
- ◆ ノハナショウブ群生地の保存活用



江別観光協会補助金

3,077 千円

江別観光協会が取り組む江別市の観光プロモーション等の活動を支援し、観光・物産の取組を推進します。

- ◆ 観光パンフレット、観光名刺の作成費補助
- ◆ 観光ボランティアガイド事業の補助
- ◆ イベント等でのPR経費への補助



美味しい江別フェア



江別アンテナショップGET'S

江別アンテナショップ
GET'S管理運営事業

8,711 千円

旧ヒダ工場（EBRI）内アンテナショップの管理運営を通して、江別の観光・物産の魅力発信を図ります。

- ◆ アンテナショップ管理運営委託
- ◆ 市内大学生等と連携した壁面黒板チョークアートの実施



その他主要事業（政策02）

■ 地域農業経営安定推進事業	83,337千円
■ 農業振興資金貸付事業	5,267千円
■ 次世代就農定着サポート事業	26,250千円
■ 花き・野菜栽培技術指導センター管理運営事業	9,655千円
■ 日本型直接支払交付金	189,276千円
■ 道営農業農村整備事業負担金	35,250千円

■ 勤労者研修センター管理運営事業	9,273千円
■ 勤労者生活資金貸付事業	3,500千円
■ シルバー人材センター事業補助金	23,339千円
■ 中小企業資金融資事業	1,240,217千円
■ 江別駅前再開発事業	118,889千円
■ 江別商工会議所補助金	8,575千円
■ 工業団地環境整備事業	44,778千円

だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします

新規

高齢者保健・介護予防
一体的実施推進事業

5,247 千円

高齢者の医療・介護・保健データの一体的な分析により、健康課題の把握を行い、個別支援と通いの場等を活用した健康教育を通し、保健事業と介護予防を一体的に実施することで健康寿命の延伸を図ります。

- ◆ 通いの場等への専門職派遣による健康教育・健康相談、フレイルチェック、重症化予防



野菜摂取の推進

健康づくり推進事業

4,584 千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 自殺予防のための相談先一覧カードによる普及啓発
- ◆ 自殺予防ゲートキーパー養成研修
- ◆ 健康づくり推進員の活動支援

健康都市推進事業

2,037 千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ 生活習慣病予防に向けた野菜摂取の推進
- ◆ 健康チェック等体験型イベントの実施

健康教育事業

958 千円

生活習慣病の予防や健康保持増進のため、食生活の改善や運動習慣の定着など健康づくりを推進します。

- ◆ 健康づくりサポーター養成講座の実施
- ◆ 喫煙予防教室の実施（小学生）
- ◆ 生活習慣病予防教室の実施（中学生）

成人検診推進事業

84,400 千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨を行います。

- ◆ **新規** 胃がん内視鏡検診の実施
- ◆ 集団検診事務の一括委託化（受付業務、電話受診勧奨、WEB予約運用）

(参考) 特定健康診査等事業
(国民健康保険特別会計)

69,870 千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を推進します。

- ◆ 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨パンフレットの送付
- ◆ けんしん受付ダイヤルと連携した電話勧奨
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問・電話勧奨



特定保健指導



リハビリテーション職による介護予防体操指導

(参考) 一般介護予防事業（「通いの場」を活用した介護予防・健康づくり）
(介護保険特別会計)

6,083 千円

社会に参加しつつ、地域で自立した日常生活を営めるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ **拡大** コロナ禍によるフレイル（虚弱状態）予防対策の実施
- ◆ **拡大** 口腔機能向上対策の実施
- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援

重度心身障がい者等
交通費助成事業 18,091 千円

重度心身障がい者（児）の生活圏拡大及び社会参加の促進を図るため、交通費の一部を助成します。

- ◆ **新規** 自動車燃料費助成券を交付し、燃料費を助成（年間最大交付枚数 12枚）
 - ◆ タクシー利用券を交付し、初乗り運賃分を助成（年間最大交付枚数 24枚）
- ※上記の選択制を導入します

介護サービス提供基盤等
整備事業 38,634 千円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービスの基盤整備を推進します。

- ◆ 地域密着型サービスの整備

介護人材養成支援事業 13,029 千円

市と市内の介護事業者が連携を図り、入門的研修による新規人材の発掘や介護事業所での実習などの就労支援の実施により、介護人材の確保と市内の介護事業所への定着を図ります。

- ◆ 介護に関する入門的研修の実施
- ◆ 介護職員初任者研修の受講による資格取得及び市内の介護事業所での職場実習

市民後見推進事業 8,603 千円

成年後見制度の普及や市民後見人の活動体制を整備するため、相談機関の運営や人材育成に取り組みます。

- ◆ **新規** 成年後見制度利用促進基本計画の策定
- ◆ 成年後見支援センターの運営
- ◆ 市民後見人フォローアップ研修

障害者就労相談支援事業 9,970 千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口の設置など、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合的な就労・雇用相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

障害者社会参加支援事業 5,501 千円

専任手話通訳者の配置や手話通訳者・要約筆記者の派遣、点字・音声による広報えべつ等の発行など、障がい者の自立や社会参加を促進します。

- ◆ 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- ◆ 「点字広報」、「声の広報」の発行
- ◆ タブレットによる「遠隔手話サービス」の提供

その他主要事業（政策03）

■ 社会福祉協議会補助金	100,180千円
■ 夜間急病センター運営経費	150,148千円
■ 高齢者予防接種経費	62,604千円
■ 障害者自立支援給付費	3,375,887千円
■ 障害者自立支援給付費（児童）	961,981千円
■ 自立支援医療給付費	198,750千円
■ 重度心身障害者医療費助成事業	206,600千円
■ 生活困窮者自立支援事業	34,798千円

■ 年末見舞金支給事業	11,908千円
■ 福祉除雪サービス事業	22,533千円
■ 後期高齢者健診推進事業	13,557千円
■ 生活保護費	2,629,000千円
■ 国民健康保険会計繰出金	1,039,190千円
■ 病院事業会計繰出金	1,513,632千円
■ 介護保険会計繰出金	1,619,023千円
■ 後期高齢者医療会計繰出金	438,317千円

だれもが安全で安心して暮らせるえべつをめざします

地域防災力向上支援事業

3,794 千円

市民への出前講座や防災訓練の実施により、「自助・共助」等の防災意識の啓発を図り、地域防災力の向上を推進します。

- ◆ **新規** 想定浸水深標識の設置
- ◆ 総合防災訓練・地域連携避難所運営訓練
- ◆ 避難所運営訓練（自治会単位）
- ◆ 防災あんしんマップの全戸配布



地域連携避難所運営訓練



防災備蓄庫

災害対応物品整備事業

7,813 千円

災害発生時に必要な物資・資器材を計画的に整備していきます。

- ◆ 食料、水、簡易トイレ 等
- ◆ 冬期間の災害への対応物品（寝袋・アルミマット等）
- ◆ 避難所における備蓄場所の整備



庁舎等耐震化検討経費

2,364 千円

これまでの市民説明会等を踏まえ、庁舎等の整備について、市の基本的な考え方（耐震化の手法・建築場所・想定規模）をまとめます。

- ◆ 庁内検討委員会・専門委員会の設置
- ◆ 市民アンケート・パブリックコメントの実施



江別市役所本庁舎



葬斎場

葬斎場施設整備事業

11,000 千円

葬斎場の安定運営を行うため、計画的に設備の更新、改修を実施します。

- ◆ 主燃焼炉セラミック全面張替え
- ◆ 霊台車改修
- ◆ 女子トイレ改修

自治会防犯灯設置費補助金

8,907 千円

各自治会等が設置する生活道路の防犯灯について、環境負荷の低減・省エネ化のためにLED灯への更新を推進します。

また、LED灯への更新にかかる自治会等の費用負担を軽減するため、LED防犯灯普及奨励金を交付します。

- ◆ 防犯灯設置費補助金（389灯予定）
- ◆ LED防犯灯普及奨励金（256灯予定）



LED自治会防犯灯

消防車両整備事業

81,700 千円

災害発生時に安全かつ迅速に対応できる体制を維持するため、消防車両を計画的に整備していきます。

- ◆ 小型動力ポンプ付水槽車、小型動力ポンプ積載車の更新



現在の小型動力ポンプ付水槽車



救命講習

救急業務高度化推進事業

5,104 千円

救急活動の質を向上させるため、隊員の再教育研修を行います。また、市民を対象とした救命講習会を実施します。

- ◆ 救急救命士の再教育研修
- ◆ 定期的に開催する救命講習

火災予防推進事業

1,251 千円

住宅防火対策等の火災予防推進及び事業所に対する防火管理・保安管理体制の推進を行います。

- ◆ 火災予防運動等のイベント実施
- ◆ 防火研修会の実施
- ◆ 住宅用火災警報器の設置啓発



火災予防運動



交通安全教室

交通安全教育・啓発事業

9,805 千円

交通事故防止のため、交通安全教室の開催や通学路街頭指導の実施など交通安全に係る啓発を行います。

- ◆ 交通安全教室の実施
- ◆ 通学路街頭指導の実施

その他主要事業（政策04）

■自治会防犯灯維持費補助金	21,343千円
■環境衛生対策促進事業 （市営墓地維持管理）	10,088千円
■やすらぎ苑整備事業	784千円
■江別河川防災ステーション管理経費	22,922千円
■排水機場維持管理事業	67,778千円
■河川等維持事業	30,078千円

■公共街路灯維持管理経費	65,737千円
■公共街路灯新設更新等事業	35,000千円
■消防庁舎・出張所維持管理費	31,856千円
■消防緊急情報システム管理経費	31,351千円
■消防通信指令システム共同整備事業	20,562千円
■消防団運営費	29,821千円
■耐震化推進支援事業	2,308千円

暮らしやすさを実感できるえべつに向けて都市基盤の形成をめざします

新築団地建替事業

932,677 千円

令和2年度着工したE棟の建設工事を行います。
(全体計画 6棟290戸 平成22~令和5年度)

- ◆ E棟建設工事(49戸 令和2~3年度)
- ◆ F棟実施設計



完成したD棟



市民参加による公園づくり事業

市民参加による

公園づくり事業

49,422 千円

地域の子どもや自治会等とともに、住民に親しまれる公園を整備します。

- ◆ ふくじゅそう公園再整備工事(豊幌美咲町)
- ◆ 公園再整備のためのワークショップの開催

除排雪事業

1,334,817 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除排雪を実施するとともに、自治会が行う生活道路の排雪を支援します。

- ◆ 除排雪の実施
- ◆ 自治会排雪の支援



除雪作業



除雪ドーザ

車両整備事業

51,185 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除雪車を整備し、計画に沿って更新を行います。

- ◆ 除雪ドーザの更新(1台)

道路橋梁管理経費(臨時)

486,304 千円

老朽化等による道路橋梁の改修・整備を行います。

- ◆ 路面凍上改修(13路線)
- ◆ 道路再整備(3路線)
- ◆ 農村地区舗装新設(3路線)



政策05 都市基盤

道路橋梁新設改築事業

473,342 千円

市内の幹線道路等について道路拡幅や歩道造成などの整備を実施し、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保します。

- ◆ 元江別66号道路
- ◆ 兵村4丁目通り
- ◆ 元江別中央通り
- ◆ 大麻駅跨線人道橋



改修した兵村4番通り



定住促進事業

6,082 千円

市内外の高齢者や子育て世代など多様な方々の定住を促進するとともに、地域のまちづくり活動を支援します。

- ◆ 定住に関する相談窓口対応
- ◆ 東京圏からの移住に対する支援金制度（北海道との連携事業）
- ◆ 地域おこし協力隊による情報発信・まちづくり活動

生活バス路線運行補助事業

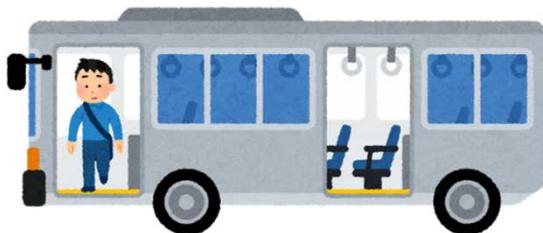
47,000 千円

生活バス路線の維持・確保のため、市内赤字バス路線への補助を行います。

- ◆ 市内赤字バス路線への補助



野幌駅北口バス停



公共交通利用促進対策事業

8,705 千円

「地域公共交通網形成計画」に基づき、交通機能を維持・確保し、情報提供の強化等により公共交通の利用促進を図ります。

- ◆ **新規** 豊幌地区デマンド型交通補助金
- ◆ 江北地区デマンド型交通補助金
- ◆ 地域公共交通活性化協議会等の開催
- ◆ バスマップ等作成

その他主要事業（政策05）

■ 野幌駅周辺土地区画整理事業 等関連経費	8,807千円
■ 公園管理事業	224,101千円
■ 公園施設改修整備事業	177,668千円
■ 市営住宅環境改善整備事業	20,800千円
■ 弥生団地大規模改善事業	183,282千円
■ 市営住宅管理経費	54,837千円
■ 道路橋梁再整備事業	94,150千円

■ 道路施設再整備事業	212,000千円
■ 橋梁長寿命化事業	187,000千円
■ デジタル現況図整備事業	9,900千円
■ 道路補助関連事業	13,200千円
■ ロードヒーティング管理経費	40,129千円
■ 水道事業会計繰出金	1,715千円
■ 下水道事業会計繰出金	889,988千円
■ 石狩東部広域水道企業団繰出金	65,018千円

未来のえびつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

子ども医療費助成事業

187,000 千円

子どもの医療費の一部を助成することで保護者の負担軽減を図ります。

- ◆ 0歳～小学3年生の通院医療費助成
- ◆ 中学生以下の入院医療費助成



民間社会福祉施設整備費

補助事業 611,256 千円

民間事業者が行う保育施設の整備に対し補助を行うことで、快適な保育環境の整備や待機児童の解消を促進します。

- ◆ 保育所等における事故防止推進事業補助
- ◆ 民間保育施設の整備に対する補助
- ◆ 民間保育施設の建設費償還金補助

一時預かり事業

91,243 千円

一時的に家庭での保育が困難となった子どもや、幼稚園等の教育時間前後の預かりが必要な子どもの保育に対応します。

- ◆ **拡大** 一時預かり事業実施施設に対する補助の拡大
※特別支援児童加算・保育体制充実加算の追加

子育て世代包括支援事業

10,044 千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで子どもを産み育てやすい環境を整え、子育てや乳幼児の健全な育成を支援します。

- ◆ 妊婦面接・支援プランの作成
- ◆ 産後ケア事業
- ◆ 巡回型親子健康相談

待機児童解消対策事業

22,754 千円

待機児童の解消に向け、受け皿となる教育・保育施設等に対し、保育従事者の養成や保育士等の人材確保のための助成を行います。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ 保育士等アパート借上支援事業



教育・保育施設等給付事業

3,183,563 千円

民間法人等が運営する教育・保育施設等に対し、国が定める公定価格に基づく給付費を支給するほか、認可外保育施設等の無償化にかかる施設等利用費を支給します。

- ◆ 教育・保育施設等への給付費支給
- ◆ 国の制度に基づく幼児教育・保育の無償化

病児・病後児保育事業

32,055 千円

病児・病後児保育を実施している事業者に対し、運営費の一部を補助します。

- ◆ 病児・病後児保育実施事業者への補助
- ◆ 感染症流行情報等の発信、保育施設の巡回・情報共有に対する補助

保育料の独自軽減

「えびつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き0～2歳児の保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率25.82%



やよい保育園 もちつき

GIGAスクール構想推進事業

27,117 千円

小中学校において、国が進める「GIGAスクール構想」を実現するため、タブレット端末をはじめとする、ICT環境の整備を行います。

- ◆ タブレット・多機能大型ディスプレイ等の維持管理経費



情報教育推進事業

71,523 千円

小中学校におけるICT教育を推進するため、パソコンやデジタル教科書などの情報機器を整備します。

- ◆ 指導者用デジタル教科書の整備（中学校の主要5教科）
- ◆ 教育用パソコンの更新（償還金）

小中学校ICT環境整備事業

34,705 千円

教育現場のICT環境整備など、教育の情報化を進めることで校務の効率化を図り、教職員の働き方改革を推進します。

- ◆ 校務支援システム運用経費
- ◆ 校務用パソコン等ICT機器維持管理経費
- ◆ 校務用パソコンの更新（償還金）



多機能大型ディスプレイ等を活用した授業の様子

小中学校学習サポート事業

9,364 千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導するチーム・ティーチングや、補充的学習を実施することで、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導（小・中学校）
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習（小・中学校）
- ◆ 放課後の補充的学習（中学校）



複数教員による指導

小中学校外国語教育支援事業

34,953 千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手が、小学校で外国語教育を行います。

また、小学校高学年と中学校の英語の授業時に、外国語指導助手を派遣し、チーム・ティーチングを行います。

- ◆ 外国語指導助手の配置（10名）

児童生徒体力向上事業

648 千円

北翔大学の協力のもと、小学校低学年向けに基礎的な運動を継続的に行える「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前授業の実施（5校予定）
- ◆ 走り方教室の実施

医療的ケア児支援事業

894 千円

学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行います。また、医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援の際には安全かつ適正に医療的ケアを行います。

- ◆ 受入体制の整備（備品整備等）
- ◆ 看護師3名を学校に配置
- ◆ 医療的ケア運営協議会の運営

スクールソーシャルワーカー事業

7,529 千円

いじめ・不登校・非行など課題を抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を活用して支援します。

- ◆ 課題を抱える児童生徒に対する支援
- ◆ 学校・家庭・関係機関との連携調整

放課後児童クラブ
運営費補助金 147,833 千円

民間放課後児童クラブに対し、設置・運営に係る費用の一部を助成し、市内における放課後児童健全育成の充実に努めます。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 待機児童の発生が見込まれる小学校区等に新規クラブを開設(18クラブ→21クラブ)



児童センターでの活動

放課後児童クラブ運営事業 16,404 千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者へ委託し、放課後に親子共々安心できる「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託

児童館地域交流推進事業 66,190 千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。また、併設された2か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（2クラブ）の運営



放課後児童クラブ
待機児童対策事業 4,180 千円

放課後児童クラブにおける待機児童対策として、児童センターにおいて受け入れる体制を整備し、子育てと就労の両立を支援します。

- ◆ 待機児童のランドセル来館による受け入れ
- ◆ 児童が放課後等に安全に過ごすことができる場の提供

あそびのひろば事業 2,951 千円

地域の子どもたちの遊びの場として、また、子育てに関する情報交換や交流の場として、民生委員・児童委員や子育てサポーター協力のもと、あそびのひろばを開催します。

- ◆ 地域あそびのひろばの開催



あそびのひろば

親子安心育成支援事業
(子育てひろば事業) 28,838 千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ぼこあぼこ』を運営します。季節や天候を問わない全天候型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ぼこあぼこ』の運営
- ◆ 子育て講習会等の開催
- ◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談
- ◆ 託児ルームの併設

その他主要事業（政策06）

■ 保育園運営経費	127,084千円
■ 児童扶養手当	451,237千円
■ 児童手当	1,579,595千円
■ ひとり親家庭等医療費助成事業	38,300千円
■ 子ども家庭総合支援拠点運営経費	7,087千円
■ 障害児通所支援事業運営費	22,920千円
■ 予防接種経費	216,528千円

■ 妊産婦健康診査経費	53,654千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	4,186千円
■ 特別支援教育推進事業	38,487千円
■ 特別支援学級生活介助事業	55,532千円
■ 学校給食事業	268,868千円
■ 小・中学校教育扶助費	180,900千円
■ 小・中学校教育扶助費（特別支援教育）	8,903千円

心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現をめざします

新規 北海道林木育種場旧庁舎
保存利活用推進事業 92,621 千円

北海道林木育種場旧庁舎を、国の登録有形文化財としての価値を保つとともに、民間利活用を推進します。

- ◆ 劣化部修繕・安全性確保の改修
- ◆ 民間事業者が実施する施設改修工事に対する補助



はやぶさ運動広場移転事業 81,900 千円

老朽化したはやぶさ運動広場の少年野球場及び多目的広場を、都市と農村の交流センター（えみくる）へ移転し、青少年のスポーツ環境の向上を図ります。

- ◆ **新規** 球場造成工事



新規 あけぼのパークゴルフ場
改修整備事業 6,200 千円

市民スポーツの環境向上と健康増進のため、あけぼのパークゴルフ場のコース増設を進めます。

- ◆ 1コース9ホールの増設
- ◆ 現況測量委託
- ◆ 実施設計委託



オリンピック・パラリンピック推進事業 12,694 千円

オリンピック・パラリンピックを通じ、市民の健康づくりやスポーツへの関心を高め、市民スポーツ活動の活性化を図ります。

- ◆ 事前合宿の受入れ
- ◆ パブリックビューイングの実施
- ◆ 応援垂れ幕・看板の設置
- ◆ パラリンピック採火イベント



スポーツ合宿誘致推進事業 2,482 千円

トップアスリートが参加するスポーツ合宿の誘致を進め、市民との交流などを通して市内のスポーツ振興を図ります。

- ◆ 道外からの合宿の誘致
- ◆ 空港、練習施設、宿泊施設等への送迎サービス
- ◆ 野幌総合運動公園等の利用料補助
- ◆ 市内宿泊施設利用時の宿泊料補助

セラミックアートセンター
企画展開催事業 5,020 千円

「やきもののまち江別」のイメージを市民と共有し、優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展を開催します。

- ◆ 「小森忍 新収蔵品展」
- ◆ 「市立函館博物館所蔵 花光コレクション展」
- ◆ 「第7回江別市中学校・高校美術部合同展」
- ◆ 「えべつFUROSIKIフェスティバル2021」

えべつ市民カレッジ（四大学
等連携生涯学習講座）事業 183 千円

市内の4大学と市が協働で実施しているふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ市民カレッジ」として総合的に学ぶ機会を提供します。

- ◆ ふるさと江別塾開催
- ◆ えべつ市民カレッジの市民向けPR



第6回江別市中学校・高校美術部合同展

その他主要事業（政策07）

■文化財整理室移転事業	62,000千円
■市民文化ホール管理運営事業	53,314千円
■コミュニティセンター管理運営事業	17,194千円
■公民館管理運営事業	96,291千円
■図書館運営管理事業	86,218千円
■図書館資料整備事業	19,620千円
■陶芸文化普及振興事業	7,125千円

■市民文化祭開催支援事業	2,400千円
■芸術鑑賞招へい事業	1,950千円
■屋内体育施設管理運営事業	194,177千円
■スポーツ大会等振興補助事業	43,462千円
■体育施設整備更新事業	6,100千円
■大麻体育館改修整備事業	8,200千円
■セラミックアートセンター 管理運営経費	38,930千円

市民や各種団体など多様な主体が、協働でまちづくりに取り組むえべつをめざします

市民交流施設関連経費
(賃借料ほか 計5事業) 39,608 千円

市民交流施設「ぷらっと」の運営等に必要経費を計上します。

- ◆ 市民活動センター
- ◆ 国際交流センター
- ◆ 証明交付窓口
- ◆ 観光案内
- ◆ 情報図書館の図書貸出・返却



市民交流施設ぷらっと



活動団体活性化のためのセミナー・ワークショップ

市民協働推進事業 3,431 千円

市民協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の活動を支援します。

- ◆ 公募による協働のまちづくり活動への補助
- ◆ 市民活動活性化のためのセミナー・ワークショップの開催
- ◆ 市民活動情報誌の発行

自治基本条例関連事業 1,282 千円

自治基本条例の内容について周知啓発することで、市民自治によるまちづくりを推進します。

- ◆ 自治基本条例検討委員会の開催
- ◆ 早朝ミ二講座（小学生・中学生）の実施



早朝ミ二講座



えべつ地域活動運営セミナー

自治会活動等支援事業 122 千円

地域を支える自治会の活動を支援するため、セミナー等の開催や、各自治会の現状等把握のためのアンケート調査を実施します。

- ◆ **新規** 自治会アンケートの実施
- ◆ 自治会活動支援のセミナー等の開催

住区会館施設整備事業 21,587 千円

住区会館の基本性能を維持し、コミュニティ活動等の支援を行うため、必要な整備費を計上します。

- ◆ 大麻東地区センターポイラー更新



大麻東地区センター

新規 大学生等地域関係促進事業

10,040 千円

市内4大学の学生や卒業生等に対する市の認知度の向上や卒業後における市との繋がりを維持することにより、関係人口を創出し、20代前半の転出抑制や将来の定住促進を図ります。

- ◆ 若者「えべつ愛」運営事務局の設置
- ◆ 市内4大学内江別PRブースの設置・地域交流会の開催
- ◆ 江別の認知度を向上させるバスツアーの開催
- ◆ えべつファンスマホアプリの拡充



大学生との意見交換の様子

学生地域定着自治体連携事業

3,758 千円

市内4大学の学生が地域活動やインターンシップなどに参加するためのコーディネートを行い、卒業後の地域定着を図ります。

- ◆ 道内8自治体等で組織する学生地域定着推進広域連携協議会の運営
- ◆ 学生の地域活動等と受入先とのマッチング支援
- ◆ 市内における学生の地域活動への参加支援

大学連携調査研究助成事業

2,285 千円

市内4大学の教員による江別の地域活性化や課題解決につながる研究事業に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携調査研究事業補助金（上限100万円）
- ◆ 大学連携事業報告会の開催

大学連携学生地域活動

支援事業

425 千円

市内4大学の学生によるまちづくりや地域活性化に資する活動に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金（上限10万円）
- ◆ えべつ未来づくり学生コンペティション



大学連携学生地域活動支援事業報告会



大学版出前講座

大学版出前講座支援事業

25 千円

市内4大学が専門知識を生かし、地域等へ出向いて実施する出前講座を支援します。

- ◆ 出前講座の登録
- ◆ 出前講座の周知・広報
- ◆ 出前講座の開催調整

その他主要事業（政策08）

■ 住区会館管理運営事業	58,330千円
■ 市政協力事業補助金	7,837千円
■ 地域自治活動事業補助金	17,602千円
■ 江別市自治会連絡協議会補助金	1,849千円

■ 自治会館運営補助金	3,527千円
■ 自治会館等建築補助金	827千円
■ 小中学生国内交流研修事業	1,515千円
■ 中学生国際交流事業	2,028千円

透明性が高く、効率的で公平な市政運営を行い、着実に計画を推進します

生涯活躍のまち整備事業

9,534 千円

生涯活躍のまち形成事業計画に基づき、江別市民が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりを目指します。

- ◆ **新規** オープンする拠点地域を中心とした地域交流事業の実施
- ◆ 生涯活躍のまちコーディネーターの配置
- ◆ 生涯活躍のまちPRパンフレットの作成

江別市まち・ひと・しごと

創生総合戦略推進事業 960 千円

人口減少の克服とまち・ひと・しごとの創生、好循環の確立を図るため、地方創生にかかる取組を推進します。

- ◆ **新規** 少子化対策の検討
- ◆ 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

新規 次期総合計画策定準備事業

6,649 千円

第7次総合計画の策定に向けた準備作業を行います。

- ◆ 策定方針の検討
- ◆ 市民アンケート・インタビューの実施
- ◆ 江別市の現状の分析

新規 情報発信調査研究事業

691 千円

新しい時代の情報発信のあり方を検討し、次年度以降の取り組みに反映させるための実証実験を含む調査・研究・検討を行います。

- ◆ ネット広告の実証実験
- ◆ 属性・ニーズ別配信手法の研究

大学生転入・住民登録推進事業

172 千円

市内4大学の新生入学生や在校生に対して、江別市内への転入や適正な住民登録を促します。

- ◆ 入学生、在校生に対する住民登録制度周知パンフレットやポスターの作成、配布

ふるさと納税普及促進事業

186,846 千円

ふるさと納税制度の普及・促進を図るとともに、江別市及び江別産品等のPRのため、ふるさと納税をしていただいた方（寄附者）に対し返礼品等を贈呈します。

- ◆ **新規** 新規ポータルサイトの追加
- ◆ ふるさと納税者（寄附者）への返礼品等贈呈



新規 固定資産現況調査等高度化経費

20,568 千円

固定資産税の対象資産を確認する現況調査業務や地図を利用する業務を改善するために、空中写真の撮影及び地理情報システム（GIS）を導入します。

- ◆ 空中写真撮影・オルソ画像作成・地番図データ作成
- ◆ 地理情報システム（GIS）・現地調査システム導入



空中写真イメージ

その他主要事業（政策09・政策の総合推進）

■住民情報システム高度化事業 （基幹系システム運用）	129,012千円
■個人番号カード発行関連経費	95,591千円
■職員研修事業	8,020千円
■ネットワーク網整備・保守事業	76,299千円
■庁舎維持管理経費	116,413千円

■ホームページ運営事業	1,812千円
■広報えべつ発行等事業	13,982千円
■男女共同参画啓発事業	933千円
■江別駅周辺地区土地利用検討事業	1,289千円
■えべつシティプロモーション事業	4,335千円
■ウェルカム江別事業	333千円

特別会計

25,294,000千円 (前年比+806,000千円、+3.3%)

国民健康保険特別会計

12,280,000 千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進に向けた事業を実施します。

- ◆ 北海道国民健康保険運営方針に基づき、北海道と一体となって国民健康保険の適正な運営に努めます。
- ◆ 資格管理や保険給付の適切な実施とともに、医療費の適正化に取り組みます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業を推進します。

後期高齢者医療特別会計

1,908,000 千円

主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険制度について、被保険者証の交付や保険料の管理、各種申請受付等の事務を行います。

- ◆ 被保険者から収納した保険料を、北海道後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- ◆ 所得が少ない方の保険料軽減のため、一般会計から繰り入れを受けます。

介護保険特別会計

10,991,000 千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護保険事業の円滑な運営を図ります。

- ◆ 第8期介護保険事業計画（令和3年度からの3か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組や地域包括支援センターの運営のほか、認知症施策などの地域支援事業を実施します。

基本財産基金運用特別会計

115,000 千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

公営企業会計

17,142,568千円 (前年比+208,806千円、+1.2%)

水道事業会計

3,897,696 千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安定した給水を行うため、引き続き基幹管路の耐震化と老朽配水管の布設替等による管網整備を行うほか、上江別浄水場の設備更新等を実施します。

下水道事業会計

5,512,399 千円

- ◆ 下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

病院事業会計

7,732,473 千円

- ◆ 病院事業では、新型コロナウイルス感染症に対応するとともに、令和3年3月に策定予定の「江別市立病院経営再建計画」に基づき、診療体制の再構築や経営改善策を着実に実行し、経営再建を目指します。
- ◆ 医療環境の変化に対応しつつ地域密着型の医療を安定的に提供できるよう、担うべき医療を重点化し、地域の医療機関と連携を図ります。
- ◆ 市立病院の医療機能を維持するため、内科系医師の確保を最優先に取り組みとともに、総合病院の強みである診療科間の連携強化を図ります。
- ◆ 病院広報誌や健康セミナーなど、積極的なPR活動を行い、さらなる市民の理解浸透を図ります。
- ◆ 健康都市の実現に向けて、在宅医療の充実に努めます。

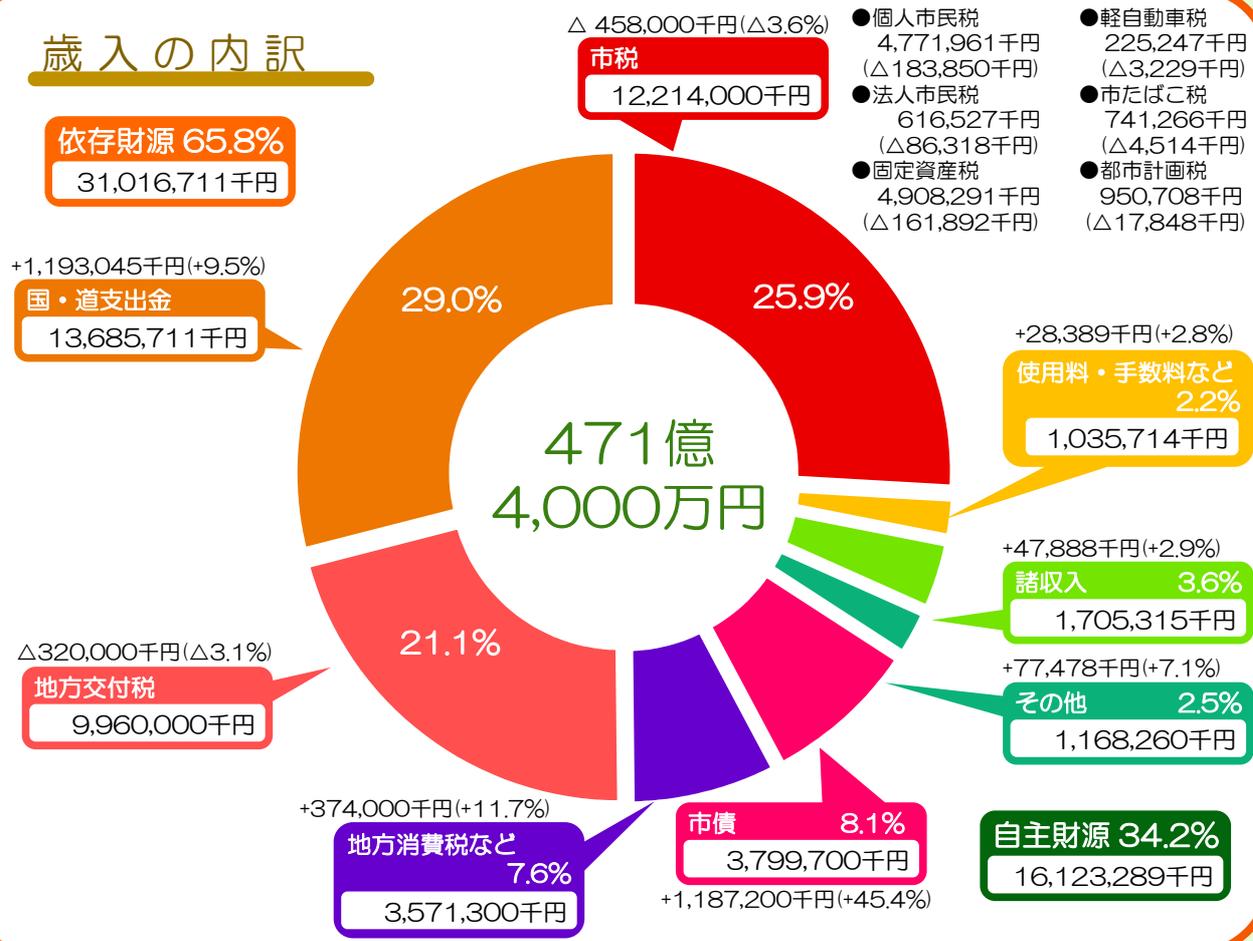


江別市水道庁舎

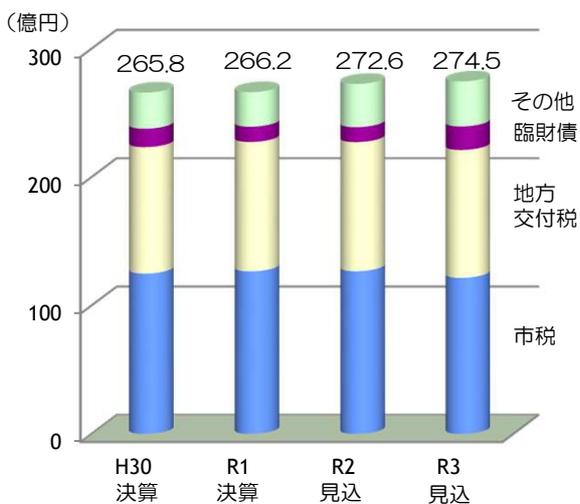


江別市立病院

歳入の内訳

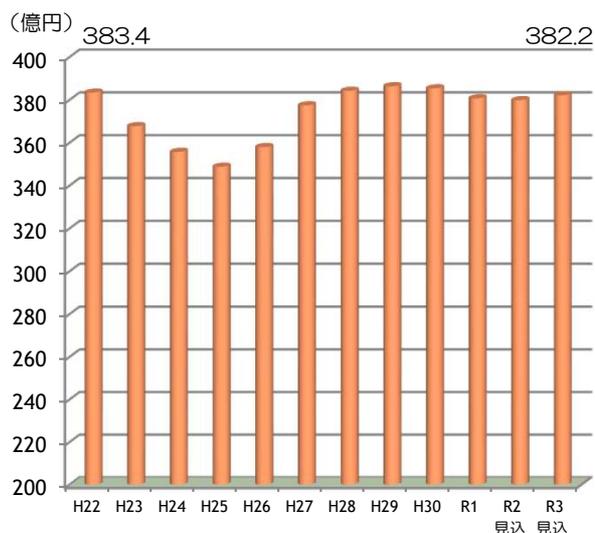


一般財源総額の状況



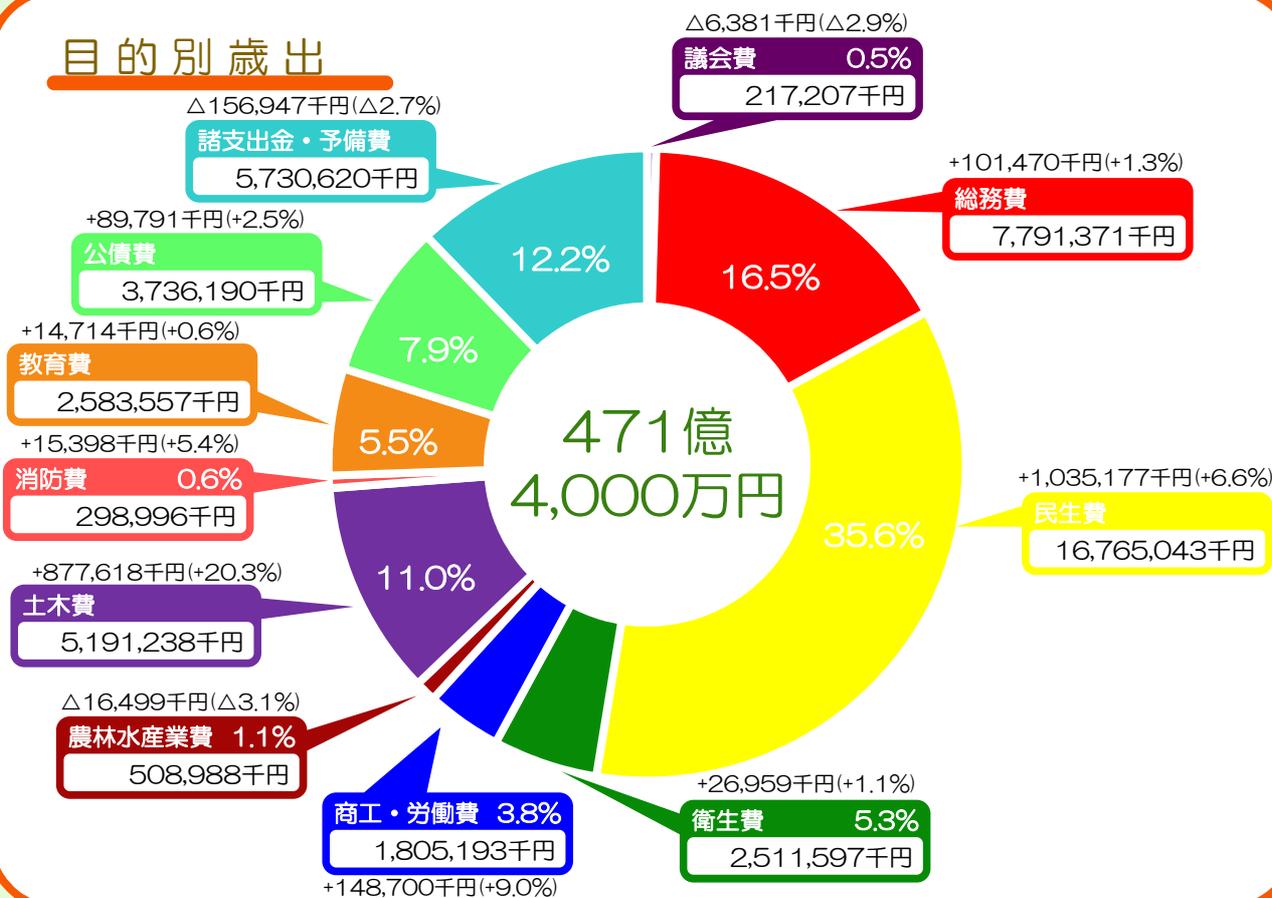
市税、地方交付税、臨時財政対策債及びその他（譲与税・交付金）を合算した一般財源総額は、地方消費税交付金や臨時財政対策債の増により、令和3年度は増加する見込みです。

市債残高の推移



市債の残高は平成26年度以降は学校耐震化や市営住宅の建替えなどにより増加を続けていました。大規模事業の終了に伴い平成30年度以降は減少傾向に転じていましたが、令和3年度は臨時財政対策債の増により市債残高が増加する見込みです。

目的別歳出



性質別歳出

